

普段は見られないような、あの先生の ライブ手術やレクチャー セミナーをWEBで配信中!

e-casebook LIVEでは、普段は聞けないような先生方のWEBセミナーやWEBレクチャーをライブ配信しています。お見逃しなく!

視聴予約は
こちらから!



PICK UP おすすめライブのご紹介

MRの最適な 治療介入時期と 治療選択を考える



座長
澤 芳樹先生
大阪大学

座長
齋藤 滋先生
湘南鎌倉総合病院

演者
久保 俊介先生
倉敷中央病院

演者
田端 実先生
東京ベイ・浦安市川医療センター / 虎の門病院

演者
坂本 隆史先生
九州大学

演者
福嶋 五月先生
国立循環器病研究センター

ディスカッサント
林田 晃寛先生
心臓病センター榊原病院

Abbott

2021.4.3 (土) 13:00~15:00

MRの最適な治療介入時期と治療選択を考える

無料

MRの最適な治療介入時期と治療選択を考える

2020年、本邦において3月に「弁膜症治療のガイドライン」が改訂され、12月には「ACC/AHA Guideline for the Management of Patients With Valvular Heart Disease」が改訂されました。

僧帽弁弁膜症に注目すると、経カテーテルによる僧帽弁クリップ術 (MitraClip) が2018年から本邦でも使用可能となっており、2020年5月にはEF下限値が20%に引き下がる適応拡大に至っています。

こうした背景の中で治療介入や適応に関する議論は尽きることがありませんが、今回は心臓弁膜症治療のエキスパートである内科医と外科医が一堂に集まり、僧帽弁逆流 (MR) の最適な治療オプションについてのレクチャーと議論をお届けします。

座長: 澤 芳樹先生 (大阪大学)

座長: 齋藤 滋先生 (湘南鎌倉総合病院)

演者: 久保 俊介先生 (倉敷中央病院)

演者: 田端 実先生 (東京ベイ・浦安市川医療センター / 虎の門病院)

演者: 坂本 隆史先生 (九州大学)

演者: 福嶋 五月先生 (国立循環器病研究センター)

ディスカッサント: 林田 晃寛先生 (心臓病センター榊原病院)



1

会員アカウント登録済みの場合

e-casebook にアクセスし、視聴予約をご利用ください。

1. 下記のURLにアクセス、または、QRコードを読み取ってください。

www.e-casebook.com/go/live-20210403



2. 「1Clickで視聴予約する」ボタンをクリックして視聴予約（予約をするとリマインドメールが届きます）

2

会員アカウントをお持ちでない場合

視聴するためのアカウント登録をお願いいたします。

- ・登録は画面右上の「新規登録」から行えます。
- ・アカウント登録後、上記 1 の手順で視聴予約をお願いいたします。



e-casebook トップページ



【会員アカウント登録方法】

- ・新規登録フォームをご入力いただくことで登録完了します。
- ・医師会員登録をされる方は、医師限定のサービスを安全にご利用いただくため、**医師免許番号**などの入力が必要です。
- ・ご不明あるいはご面倒な場合、先生の「名刺情報」を下記のメールアドレスまでお送りいただければ、アカウントを代理仮登録 / 視聴予約して先生にメールでご案内いたします。

※名刺の撮影データでも結構です。

株式会社ハート・オーガナイゼーション
カスタマーサポート： e-case@heartorg.co.jp

※件名に「Abbott0403 ライブ閲覧希望」と記載をお願いいたします。